

お釈迦さま誕生 花まつり

日時 4月8日 午後1時～

場所 山門下（荒天時は地蔵堂内）

4月8日は、お釈迦さまが誕生された日です。これを祝う行事を、花まつりと呼んでいます。また仏生会(ぶっしょうえ)・灌仏会(かんぶつえ)ともいいます。この花まつりには、花御堂（はなみどう）を飾り右手で天を指し左手で地を指している誕生仏に、甘茶をそそいでお祝いをします。

お釈迦さまは、およそ2,500年前、インドの北部・ヒマラヤの麓(現在のネパール)で、カピラ城の城主「浄飯王(じょうぼんおう)」とその妃「摩耶夫人(まやぶにん)」との王子としてお生まれになりました。伝説では、摩耶夫人が胎内に白い象が入る夢をみて身ごもったといわれています。御生誕の場所はルンビニーという花園で、時はまさに美しい花が咲き香っている季節でした。

王子が誕生すると天より甘露（かんろ）の雨がふりそそぎ、王子の体を清めました。すると王子はすぐに立ち上がり、七歩あゆまれ『天上天下唯我独尊（てんじょうてんげゆいがどくそん）』といわれたそうです。甘露の雨は神々の祝福であり、七歩あゆんだことは六道、すなわち地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天という輪廻（りんね）の世界を超えたことを意味します。

花まつりで飾る仏具は、こうしたお釈迦さまのご誕生の様子を再現するものです。誕生仏は生まれてすぐ歩まれたお姿を、そして、花御堂はルンビニーの花園を、甘茶は甘露の雨をあらわしております。

こうした様子をたどることで、お釈迦さまによる広大な恩恵に感謝し、そのご誕生をたたえ、御詠歌法要を行います。

参拝者には「甘茶」の接待をいたしますので、どうぞお誘い合わせの上ご参加下さい。

なお、子どもたちには、お菓子のプレゼントがあります。

（お問い合わせ）

錫杖寺 川口市本町2-4-37

TEL:048-222-2046

